

目で見える新型コロナウイルス等の感染防止対策

新型コロナウイルスも含め、感染症の病原体の多くは目で見えないため、効果的な感染防止対策の説明をする際など、当所では色素液での代用や画像拡大することにより「可視化」しての情報提供を心がけていますので、いくつかご紹介します。

●タオルを共有しない

汚れに見立てた蛍光ローションを手に付けた人が不適切な手洗い後に使用したタオルです（写真1）。手洗い後タオルを共有することで、逆に汚れを手に付けてしまう可能性があることがわかります。



写真1 共有タオルの汚れ

●手洗い後のペーパータオルは有効活用

手洗い後に、ペーパータオルで手を拭く場合、水分を吸わせるのではなく、「水分と一緒に汚れを拭き取るように」使用すると、指の間などの洗い残し汚れを落とすことができます（写真2）。



写真2 ペーパータオルの使い方による汚れ残量

本頁のカラー版を当所ホームページに公開しています。
<https://www.pref.nagano.lg.jp/kanken/johotekyo/jo-hoshi/saishingo.html> ⇒「第76号」をご覧ください。

●アルコール消毒は拭き上げで

スプレー噴霧では点状に消毒されるため、拭き上げた方が全体を消毒できます（写真3）。

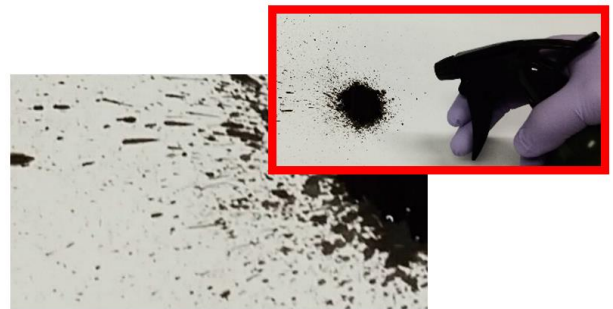


写真3 アルコールスプレーでの消毒

●飛沫拡散防止のために着用するマスク

綿ガーゼなどの織物素材だと穴が大きく均一であるのに比べ、不織布3層では目が不均一で細かいことから、飛沫拡散防止効果が高いことがわかります（写真4）。

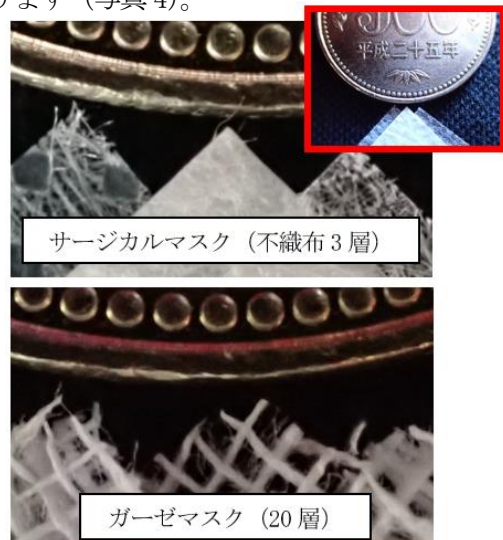


写真4 各種マスクの通気穴の大きさ

目に見えない病原体の感染防止対策を考える場合には、汚染箇所や感染経路等を可視化することで、効果的な対策につなげることができます。

(小野 諭子 kanken-kansen@pref.nagano.lg.jp)